

令和8(2026)年度栃木県市町DX推進研修業務委託公募型プロポーザルに関する質問回答

栃木県経営管理部行政改革ICT推進課

No	該当箇所	質問内容	回答
1	実施要領 4 プロポーザル実施の手続 (6)企画提案書の提出 カ 記載様式及び内容	企画提案書について、記載様式は任意とされていますが、ページ数の上限が明記されていないように見受けられます。企画提案書のページ数の上限など制限又は目安があれば御教示ください。	企画提案書のページ数の目安及び制限はしていません。
2	実施要領 5 審査方法 (2)審査方法	6月18日(木)に実施予定のプレゼンテーション審査について、①1者あたりの発表時間・質疑応答時間の配分をご教示ください。②プレゼンテーション当日の評価と企画提案書の評価は合算されますか、それとも別々にスコアリングされますか。③当日提出済み企画提案書に追加記述・補足資料の投影は認められますか。④オンライン(Zoom等)での参加は可能ですか。	実施要領5審査方法(2)審査方法に記載のとおり、書類審査を実施します。
3	仕様書 2 目的	本件の研修にて目指しているのは、庁内業務効率化に資する業務改革よりも市町村としての施策業務に資するDX推進スキル習得に軸足を置いているとの認識でよろしいでしょうか。	仕様書2目的に記載のとおり、県内市町のDXの進展に必要なスキルを持つ職員の育成を支援することとしております。
4	仕様書 4 本業務の実施体制等 (1)マネージャーの選任	仕様書に「国内外のDX情勢、業務改善、情報システム等の知見を有し、市町での豊富な研修実績があること」とありますが、①「市町での豊富な研修実績」の最低要件(回数・規模等)の目安をご教示ください。②国の機関(中央省庁・国会等)での研修・人材育成実績も「類似業務実績」として認められますか。	①最低要件の目安は、設けておりません。 ②受注された研修等の内容が、DXの推進やデジタル人材の育成を目的とした研修に類似したものでありましたら、「類似業務実績」として認めます。
5	仕様書 4 本業務の実施体制等 (3)費用負担等	研修のメインで使用するAIツールは受講者ごとにアカウントを取得いただき、受講者分、事前にご用意いただけますか。	具体的な研修準備につきましては、本県及び市町並びに受託者の研修環境等を鑑み検討したいと考えておりますが、受託者において、受講者分のアカウントを準備していただくことを想定しております。
6	仕様書 4 本業務の実施体制等 (3)費用負担等	特に応用編では有料版のAIツールが必要と考えてますが、受講者に有料版アカウントを用意いただくことは可能ですか。その場合、月額課金になりますが、費用は受託企業が負担するのでしょうか。受講者側が負担するのでしょうか。	受講者用の生成AIツールの準備は、有償版が無償版かを問わず、受託者にご準備いただくことを想定しています。また、費用が生じる場合は、受託者にご負担いただきます。

No	該当箇所	質問内容	回答
7	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	本業務では7コース（DX推進基礎・BPR・UI/UX・管理職向け・生成AI基礎・生成AI応用・データ利活用）の研修が含まれていますが、①これら全コースを同一の講師1名が担当することは認められますか。②コースごとに異なる専門家（複数講師）での対応は可能ですか。③複数講師での実施は「実施体制とスケジュールの安定性」の評価においてプラス評価になりますか。	①②可能です。 ③複数講師による実施が、プラス評価になることはありません。評価は、御提案いただいた内容を、審査員が評価基準に基づき総合的に判断します。
8	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	仕様書（5（1））では7つの研修コースの目的・対象者・形式・開催時期が示されていますが、以下の点について自由度をご確認してください。 ①仕様書に定める要件を充足した上で、独自の付加価値を加えること（例：BPR研修に中央省庁で成功している方法論を組み込む、管理者研修にEBPM事例を追加する等）はご要望の範囲内でしょうか。 ②各コースのカリキュラム・教材について、提案者独自の内容を提案することは可能でしょうか。 ③「サービスデザイン（UI/UX）研修」で、栃木県内市町の実際の行政サービスを題材にしたケーススタディを盛り込む提案は、事前に情報提供・調整が可能でしょうか。	①研修目的が達成できる範囲内でしたら、お見込みの付加価値を加えることは可能です。 ②可能です。 ③企画提案の段階では、審査の公平性を確保するため、本県からの情報提供は行いません。
9	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	各研修の対象職員は、基本的なPC操作やWeb検索、Officeソフトの利用ができる程度のITスキルをお持ち、という前提でよろしいですか。	お見込みのとおりです。
10	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	オンライン研修時、受講者は1人1台、カメラ・マイク付きPCを使用可能ですか。	受講者1人につき1台、カメラ及びマイクの利用が可能な受講環境を想定しています。
11	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	使用するWeb会議ツールに指定はありますか。	特に指定はありませんが、本県及び市町の受講者が研修を円滑に行うことができるWeb会議ツールを利用してください。
12	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	生成AI研修のハンズオンで使用するAIツール(ChatGPT,Geminiなど)について、指定はありますか。市町としての指定やシステム担当による利用制限がなければ、研修実施企業側で選定してよいですか。	生成AIツールの指定はしておりません。本県及び市町並びに受託者が利用可能であることを前提に、協議のうえ選定いただく想定です。

No	該当箇所	質問内容	回答
13	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	受講者に無料版と有料版の両方がある状況で、有料版で出来る内容を講師がデモンストレーションすることで導入を検討してもらう、という研修内容でもよいですか。	研修では、講師及び受講者が同一の環境で実施することを想定しており、実際に生成AIツールを操作することを想定しています。
14	仕様書 5 業務内容 (1)研修の企画	AIツールの比較の演習、ということで研修内で無料版のAIツールのアカウントを取得することは可能ですか。	生成AIツールの指定・準備は受託者において対応いただくことを想定していますが、研修実施にあたりアカウント取得が必要な場合は、セキュリティ面等に配慮しながら、可能な範囲で対応する考えです。
15	仕様書 9 留意事項	仕様書に「原則として再委託は認めない」とありますが、①特定コース（例：データ活用研修、UI/UX研修）の講師として外部専門家に一部業務を委託する場合、「再委託」に該当しますか。②再委託が認められる場合、申請のタイミングは企画提案書の提出時と契約後のいずれですか。③認められる場合の承認手続きをご教示ください。	①該当します。 ②③契約候補者決定後、該当がある場合は、再委託の範囲及び再委託先について提示いただけます。
16	評価基準 評価内容(4)	評価基準に「県内市町の現状・課題把握と具体的・実現性の高い提案」とありますが、①提案書において各市町の現状（DX 推進度・人材レベル等）を具体的に記載することは可能ですか。②栃木県の25市町に関する現状データ・調査結果等を参考として事前に提供いただくことは可能ですか。③評価において特に重視される観点（具体性・実現可能性・独自性等）があればご教示ください。	①可能です。 ②企画提案の段階では、審査の公平性を確保するため、本県からの情報提供は行いません。 ③評価基準に基づき、御提案いただきました提案書を総合的に評価します。